

ヒマラヤを見れば、世界が見える。

ブータン、中国、チベット、ネパール、インド、パキスタンにまたがる世界の展望台ヒマラヤから地球を考える。

HIMALAYA
FILM FESTIVAL WEST JAPAN 2009

ヒマラヤ 国際映画祭

WEST JAPAN 2009



4.25(土)・4.26(日)
ウィングス京都 イベントホール

4.28(火) - 5.8(金)
京都みなみ会館

5.2(土) - 5.6(祝)
神戸映画資料館

ウイングス京都 イベントホール
4月25日(土)・26日(日)

オープニング
「ようこそヒマラヤへ!」
240席

4/25 (土)	
12:30	オープニング・セレニー 「ヒマラヤにかける橋」 「チベットへのキックオフ」
18:15	ヒマラヤ国際映画祭各作品60秒リレー上映 60分 『番目のクワイマー』 60分 トク・ハチマルヤの空から『我々が来た女性たち』 『愛の橋を越えて』 60分 18:30

4/26 (日)	
10:00	ヒマラヤの空から『我々が来た女性たち』 60分 60分 ヒマラヤ国際映画祭各作品60秒リレー上映
12:30	『チベット難民 - 世代を超えた闘い』 60分 トク・ハチマルヤの空から『我々が来た女性たち』 『愛の橋を越えて』 60分 60分 15:10
15:10	ヒマラヤ国際映画祭各作品60秒リレー上映 60分

ゲストや来賓の皆様と一緒にヒマラヤや映画を語る交流パーティに参加しませんか。
日曜：4月25日(土)18:30～
会場：ウイングス京都 イベントホール
参加費 5000円 / 来賓 20名 懇話会
※本会主催のメールフォームから申し込み
※お名前、住所、連絡先、参加人数をお知らせ下さい。当日は受付で必要となります。

京都みなみ会館
4月28日(水)～5月8日(金)

環境部門
美術部門
文化部門 B
165席

4/28 (水)		4/29 (木・祝)	
12:00	『天国の魂』 『番目のクワイマー』 60分 14:20	12:00 『我々が来た女性たち』 60分 14:00 『愛の橋を越えて』 60分 16:10	12:00 『我々が来た女性たち』 60分 14:00 『愛の橋を越えて』 60分 16:50

4/30 (木)		5/1 (金)		5/2 (土)	
12:00	『聖地蔵尊』 『我々の唄』 14:00	12:00 『我々の足あとだけ』 『天国の魂へ!』 14:20	12:00 『我々の足あとだけ』 『天国の魂へ!』 14:20	12:00 『我々の足あとだけ』 『天国の魂へ!』 13:55	12:00 『我々の足あとだけ』 『天国の魂へ!』 13:55

京都みなみ会館では 映画祭開催期間中、チケット問題を解決する特設「心の橋」ロードショー(無料)を開催します。

5/3 (日)
12:00 『天国の魂』
『聖地蔵尊』
13:45 『我々の唄』
2. 京都みなみ会館
『番目のクワイマー』
165席

5/4 (月・祝)		5/5 (火・祝)	
12:00	『ヒマラヤの空から』 『聖地蔵尊』 14:00	13:45 『我々が来た女性たち』 60分 『チベットへのキックオフ』 15:55	13:45 『我々が来た女性たち』 60分 15:55

5/6 (水・祝)		5/7 (木)		5/8 (金)	
13:45	『我々が来た女性たち』 60分 15:30	13:45 『我々が来た女性たち』 60分 15:30	13:45 『我々が来た女性たち』 60分 15:50	13:45 『我々が来た女性たち』 60分 15:50	13:45 『我々が来た女性たち』 60分 18:00

5/4(月)～5/8(金)は 映画祭期間中は、会場内には「心の橋」ロードショー(無料)を開催します。

神戸映画資料館
5月2日(土)～5月6日(木・祝)

政治・人権部門
美術・開発部門
文化部門 A
38席

5/2 (土)		5/3 (日)	
10:30	『旅の道に生きる』 『少女アリスホッカー』 13:00	10:30 『もう一人の少年』 『フーチャウの村』 『自由に死す』	

5/4 (月・祝)		5/5 (火・祝)		5/6 (水・祝)	
10:30	『我々が来た女性たち』 60分 13:00	10:30 『我々の足あとだけ』 『天国の魂へ!』 13:00	10:30 『我々の足あとだけ』 『天国の魂へ!』 13:00	10:30 『我々の足あとだけ』 『天国の魂へ!』 13:00	10:30 『我々の足あとだけ』 『天国の魂へ!』 13:00

5/4(月)～5/6(水)は 映画祭期間中は、会場内には「心の橋」ロードショー(無料)を開催します。

◆ イベントのご案内

4/25 (土) 会場：ウイングス京都 (お申し込み期間外)
◆ トークイベント
『チベットに響く夢 宮原真 40年の挑戦』
15:15～今年2月日経新聞連載でもおなじみのヒマラヤ観光開発代表取締役宮原真(まこと)氏をお招きします。
※日：89年、エベレストを撮影するホテル・イベント・ビルを建設、運営してエベレスト登頂に貢献。09年、ネパールの観光業を立ち上げます。
◆ オープニング・パーティ 18:30～(本ページよりお申し込み)

4/26 (日) 会場：ウイングス京都 (お申し込み期間外)
◆ トークイベント
『田中邦彦監督 ヒマラヤを語る』
12:30～『チベット難民-世代を超えた闘い』の田中邦彦監督にヒマラヤへの思いをお話します。
全日：会場ではヒマラヤ関連グッズや書籍を販売

5/4(月) 会場：神戸映画資料館 シネマカフェ (お申し込み期間外)
◆ 交際パーティ&ミニコンサート
『インド古典舞踊でつむぐ ヒマラヤへの祈り』 in KOBE
18:00～来日インドの古典舞踊サラナンとタプタの演奏を兼行アコースティックコンサート&イベントやヒマラヤのお話をしつむぐ(オーディオ)※Masayo Enzama 参加費3,000円 / 1ドリンク 2杯 60分+15分ウェット付 / 先着300席、要予約。
※本会主催のメールフォームから FAXにてお申し込み。
※お名前、住所、連絡先、参加人数をお知らせ下さい。当日は受付で必要となります。 ※ドリンク、フードは別途2,000円

4/25 (土) 会場：ウイングス京都ロビー、5/2 (土)～6 (木・祝) 会場：神戸映画資料館 シネマ・カフェ

◆ チケット写真展『ルンパにのせて』チベットの写真家、ジャーナリストの作品&2008年以降のラサ、日本のフリー・チケット活動、ダムラサを写した作品の展示。(無料)

4/25 (土) 会場：ウイングス京都、5/2 (土) 会場：神戸映画資料館

◆ ヒマラヤ国際映画祭各作品60秒リレー上映 ※本演劇で上映する各作品のタイジェストを60秒ずつリレー上映します。

- ◆ ミニコンサート ヒマラヤの唄 5/3、8 京都みなみ会館 - 『ネパールの旅をへる』
- ◆ ミニ座談会 5/4 神戸映画資料館 - 監督、スタッフや在日外国人5人のトーク
- ◆ 招待作品 『ヒマラヤを語る子供たち』 特別上映 5/5 神戸映画資料館 (お申し込み期間外) - 中国から6ヶ国で活動するチベット5日間のドキュメンタリー (お申し込み期間外)

● アクセス |



◆ **ウイングス京都 イベントホール** (240 席・P 席 / お車は近くの有料駐車場をご利用下さい)：京都府中川区東浜田池六ヶ所第一臨海鳥丸駅・地下鉄丸山駅 (20 番出口) または地下鉄丸山南池駅 (5 番出口) 下車徒歩約 5 分。 ◆ **京都みなみ会館** (165 席・専用無料 P 有)：京都市南区丸太町東側入る一帯(丸太町東側京大前停留所より)。または JR 京都駅から 5 分徒歩約 1 駅 (2 分) の新大塚下車徒歩約 2 分 ◆ **神戸映画資料館** (38 席・無料 P 有)：神戸市東灘区 JR - 南谷地下鉄有馬駅近く アスクに徒歩 1 分 徒歩 2 分 JR - 谷町線 淡島駅西側下車、南へ徒歩 5 分。国道 2 号と大正館商店街の交差点南角にある 2 階建て P 有。お車は阪神 3 号神戸線 淡島川崎駅より国道 2 号線東側方面へ 5 分。交差点「大橋四丁目」を左折、アスタムにづか 3 番駐車場で約 1 (日) 最大 800 円

● 料金 |

「1」プログラムは上のプログラムより時間が表記されている単位です。
例) 4月26日は合計3プログラムです。

	前売	当日
1プログラム(2作品)	1,000円	1,300円
2プログラム(4作品)	—	2,200円
3プログラム(6作品)	—	3,000円

◆ **お注意**
※1プログラムは二本立です。ただし長期(「チベット難民」)「我々が来た女性たち」は一本立です。25日、26日は1作品1作品のトークショーのプログラムもありません。
※前売券は上記上映スケジュールをご参照下さい。
※前売券の無効を問わず、満席の場合は当財法上入場をお断りする場合もございます。お早めにご来場ください。また変更には万全を期しておりますが、やむをえない事情によりゲストや作品の変更も予想されます。

● お問い合わせ |

ヒマラヤ国際映画祭 WEST JAPAN 2009 運営事務局 / Tel (fax) 番号: 075-382-2331 (受付受付は 19～23時)
京都みなみ会館 / Tel 075-681-3993 神戸映画資料館 / Tel 078-754-8039

● ホームページ |

<http://himalaya2009.jakou.com>

(英) ヒマラヤ国際映画祭 WEST JAPAN

ヒマラヤ国際映画祭とは

ヒマラヤの自然や伝統的文化、環境問題、紛争、チベット問題など、ヒマラヤから発信されている様々なメッセージを伝えるアムステルダム・ヒマラヤ国際映画祭は'03年から開催されています。作品の舞台はブータン、中国、チベット、ネパール、インド、パキスタンに及び、ヒマラヤの自然と人の壮大なドラマがスクリーンに展開されます。'06、'08年には東京でも開催され、この度厳選したドキュメンタリー映画 30本が京都と神戸にやってきました。真実だけが伝えられる感動をお見逃しなく。

ヒマラヤ国際映画祭の作品の舞台

●ヒマラヤ山脈はインド大陸とチベット高原を隔てている南西の山脈で構成される。その長さ日本本土の長さの約半分の長さ 2400km ●インダス川、ガングシ川 長さ日本本土大川の内水 (氷水人口7億5千万人) ●地球最高峰エベレストを定む14の8000m級の山が7000m級の山が100以上 ●仏教 ●ヒマラヤの発祥地 ●水害の被害、経済発展と伝統保持の難題、チベット問題、カシミール問題、テロリズム、人権問題、貧困等々、ヒマラヤは現代の世界を写し出す鏡です。

パキスタン

インド

ネパール

チベット

エベレスト

ブータン



全作品日本語字幕付き

部門別作品リスト

※1プログラムあたり2作品をセットで上映します。(ただし一部例外あり。詳細には裏面「スケジュール」の「観念」をご覧ください)

環境部門

1 メルトダウン - 氷河融解



温暖化によって「世界の屋根」ヒマラヤの環境が深刻な危機に晒されています。この数十年間に氷河は急速に融解しては来ましたが、氷河湖が陸所に出現している。湖が潰壊した時、村は崩壊に陥る。国連調査隊が現地を撮影したものは…。深刻な被害と恐怖を訴える驚愕のビデオ。

監督：リチャード・ヒープ / 2004 / イギリス / 50分

2 残すのは足あとだけ



観光は地元雇用の増やし国庫を潤す一方、ごみ、自然破壊、インフラ不足などの問題をもたらす。インド内ヒマラヤのさまざまな観光地の現状と改善への取り組みを見つめ、自然・文化・経済に優しいエコフレンドリーな観光とは何かを考える。

監督：ワンジェイ・パネラ / 2007 / インド / 36分

3 草地戦争



1999年、インド・ヒマチアル州のクク谷の村民たちは、国公立国設立のため、先祖代々の権利を失った。羊飼いとしての権利と畜産採取の権利を失った。諦めがちな村民たち…。しかし、予定地はダム建設の益が持ち上がり、環境破壊の危機を前に行政への不信感と怒りが再燃する。

監督：サンジェイ・フアラント / 2001 / インド / 40分

冒険部門

4 天国の森



ネパール・北ゴルカ地方、「天国」と呼ばれるシアラの森では、人々が豊かな森を古より導いてきた。しかし、英国や生活スタイルの変化により、大樹が次々と切り倒され商品に換わる。共存してきた村の間に争いも起こる…。天国の森は一体どうなるのでしょうか。

監督：モハン・マイナリ / 2004 / ネパール / 40分

5 天空を駆ける



インド人ライダーが単独でムンバイより世界最高峰の高原・チャンタン高原をめざし、5000kmの旅に出る！そこは平均高度4500メートル、冬にはマイナス40度にものなる場所だ。広大な自然、深遠なるチベット文化、道化師との交流の日々…。ロードムービーの傑作いよいよ関西初公開。

監督：カクラフ・ジャニ / 2006 / インド / 90分

6 盲目のクライマー



世界初、盲目の男性が世界最高峰・エベレストをめざす。氷河、崖壁の崩落など、危険と隣り合わせの挑戦は彼にとって何とも味厚的なのか。誰も想像できない感動と興奮が「宇宙の中心」たるエベレストの頂点へと牽動されていく。不可能を可能にする意志の力、魂の記録。

監督：マイケル・ブラウン / 2003 / アメリカ / 75分

政治・人権部門

7 雷龍の国へ!



雷龍の国、秘境ブータンを一輪車で旅する冒険野郎たち。険しい山も風も飛ばす！初めて見る奇抜な乗り物に地元では大人も子供もびっくり。偉大なヒマラヤ山脈に指かれ、各地で新たな交流が生まれる。神秘の国を舞台にした驚異のアドベンチャー！撮影テクニクも必見。

監督：シーン・ホワイト / 2003 / カナダ / 45分

8 ヒマラヤの空から



ヒマラヤの山々を滑空する。それは「鳥の眼」だ。ヒマラヤを代表する8000メートル峰・アンナプルナが周辺に迫る。「鳥」たちは空から村々へと舞い降りる。そこで、村人たちの暖かさも感じられる。パラグライダーとヒマラヤに魅せられた男たちの冒険と交流を楽しく快く。

監督：ニール・マイケリス / 2000 / アメリカ / 45分

9 運命の高峰



山岳ガイドのマークは友人の長年の夢を叶えるためエベレストへ向かった。二人は苦闘の末、数回を繰り返すが、8000メートルを超える高所で一敗を明かすことに。やがて二人に悲劇が訪れる…。ヒマラヤ登山という過酷な挑戦とロマンを巡る「死」と「再生」の物語。

監督：ジェームス・ヘイワード / 1996 / ニュージーランド / 52分

10 死の領域を超えて



ヒマラヤ8000メートル峰、人間を寄せ付けない「死の領域」にあえて挑むのがクライマーたちだ。しかし世界中のクライマーが驚愕する登山に挑む猛者が現れた。三つの巨大な峰々をわずか2ヶ月の間に征服しようというのだ。スーパービルドゥ主義者の挑戦が一勝たりとも目が離せない。

監督：シャイ・J・カッツ / 2003 / フランス / 50分

11 チベットへのキックオフ



2001年、デンマークで画期的な国際サッカーゲームが行われた。「グリーンランドVSチベット」。チベットは難民メンバーによる初の「ナショナルチーム」だ。中国政府による横やりが入るも、ゲームは決行。チベットサッカー史上初のゴールが生まれる！

監督：アーノルド・クロイガード・ラウス・ティネセン / 2003 / デンマーク / 64分

12 少女とアイスホッケー



インド・ラダク地方の少女ドルカと友人たちはアイスホッケーが大好き。トーナメント参加をめざすが、スポーツクラブは女性がスポーツをすることに難色を示す。用具が無い、イスラムの女性たちは混合チームが構成された。果たしてドルカたちは参加できるのか？

監督：ハカ・ベルタス / 2006 / スウェーデン / 58分

13 チベット難民 - 世代を超えた闘い



チベットが中国に侵略され、ダライ・ラマがインドへ亡命してから40年、インド北西部のダラムサラに暮らす難民も既に3世代目。だが「第3世代」の未だ見ぬチベットの思いは衰えを知らない。そこで若い世代を中心にチベット解放への闘いを込めた「平和の闘い」が若者を中心に始まろうとしている…

監督：田中孝彦 / 2002 / 日本 / 108分

14 安らぎはいずこに?



60日目のインド独立記念日、ジャイラム・カシミール州のシュリナガルにも国際ジャーナリストが溢れる。だが、道路に人影はほとんど聞かれない。イスラム教分離独立派とインド政府軍との長年わたる闘いが強い影を落としているのだ。18年にも及ぶ闘いで、6万人が死亡し、7万人が失明。カシミールの人々の嘆きは深まるばかり。インが不明確な民主主義とは、

監督：サンジェイ・カク / 2007 / インド / 136分

15 銃を取った女性たち



10年に及んだ毛沢東主義派ゲリラと政府軍との戦闘はネパールの内戦状態となり、1万人以上の死者を出した。ゲリラには女性兵士が多かった。彼女たちは、なぜ兵士となる道を選んだのか？ネパールの女性たちへのDVや差別の現状が明らかになっていく。

監督：スピド・シラレッタ / 2006 / ネパール / 23分

16 自由に死す

Better to Have Been Killed



内戦下のネパールでは、報道の自由は政府により著しく制限された。その状況に闘いを挑んだジャーナリストを待っていたのは逮捕、そして拷問の連続であった。多くのジャーナリストの証言より、非常事態の中で報道の自由を巡る闘いを浮き彫りにする。

監修：ドナルド・パスネット / 2007 / ネパール / 52分

19 思いを運ぶ手紙

Yi shi gei kua: The Price of a Letter



ブータン、標高4000メートルの山中にあるリンシ村。放牧と並ぶながらの暮らしがある。テンジンはこの村の郵便配達員。26年間、10日以上かかる書信、ティンペルらしい山中を毎月往復し手紙を届けて来た。都市と村の両方を見てきた彼の思いとは、

監修：ウザン・ワン / 2004 / ブータン / 70分

22 レブチャ族の村

Tingyong: A Lepcha Village in Sikkim



カンチエンジャン峰の山麓に暮らすレブチャ族。その生活スタイルは、この80年間に伝統的な特徴から近代化の専門産業へと大きく変化した。しかし、仏教とシャーマニズムの伝統は今も生き続け、次の世代へと受け継がれている。「映像人類学」の記録。

監修：アンナ・パルクチャー・タンジョン・バム・ダフ・レブチャ / 2005 / インド / 60分

25 怒れる僧侶

Angry Monk



「チベット」…憎った長き人々のみが住む神祕の天空の世界? そんな「固定観念」を打ち、真のチベット解放を目標とする「怒れる僧侶」が50年代に「グランドウツ」

チャーブル。彼はやがて「フリーチベット」のシンボルとなって、吉のチベットの象、そして、チベットの未来が見えてくる。

監修：リョウ・シェドラー / 2005 / スイス / 60分

28 遊牧民と呼ばれて

A Man Called Nomad



中国国内のチベット系。遊牧を主業とし伝統的な生活を守り続けて来た。しかし、近代化の波が彼らを取り巻く環境を急速に変化させる。伝統と近代化の狭間でどう折り合いをつけるのか? 遊牧民として生きていく意味とは? ある家族を通じてチベット族遊牧民の現状を描く。

監修：アレックス・ガボン / 2002 / ネパール / 40分

17 シアチェン-氷河の戦闘

Shichen: A War for Ice



ヒマラヤ山中、標高6000メートルに位置するシアチェン氷河を巡ってインドとパキスタンが20年以上戦闘を繰り返してきた。国境線は、両国は自らの正当性を繰り返すばかり。この「高層化した」戦闘の解決の糸口はあるのだろうか?

監修：スルゴイ・マリヤニニ・マリノ・カゼッラ / 2006 / スイス / 52分

20 我ら辺境に生きる

Nani Kumbak maashti: I See Corner People



山奥の寒村ネパールのタム村。村人は自らを「片すみの人々」と呼ぶ。電気も一軒の店も無い村が支配する。そして、洪水で一人の若い花嫁が流され、人々の憂鬱は更に深まる。そんな村に機が関かることになった。果たして、村人の貧困や不安は軽くなるのだろうか。作品提供：山形国際ドキュメンタリー映画祭

監修：ナニ・チェン / 2006 / ネパール / 50分

23 尼僧の智慧

Daughters of Wisdom



チベットの尼僧は幾世にも渡り、男性が修行と教育の中心的な役割を果たしている。しかし、チベット地方のラロング僧院では、前例の無いことに約300人の尼僧が修行と教育を受け、チベット文化を守る役割を担う。尼僧たちの知られざる日々を密着した心を浄化するドキュメンタリー。

監修：パリー・パールマン / 2007 / アメリカ / 70分

26 チベットの高僧

Call It Karma



パンクパーの途中で偶然出会ったカナダ人青年とチベット仏教の青年高僧。過酷な修行、ヒマラヤ登山、西への布教。高僧の半生に青年は深い感銘を受ける。やがて、二人は僧侶の故郷チベットへと向かう。スペクタクルな風景と共に描かれる真実の物語。

監修：ジェフ・ブラウン / 2004 / カナダ / 48分

29 歌声はヒマラヤの彼方に

Endless Song: From the Mountains to the Sea



ヒマラヤ山中で聞いた民謡が忘れられないジャーナリスト。その歌を放から聞いた友人のミュージシャンは新しいアルバムに収録することを切望する。一行はメロディに惹きつけられるようにネパールの奥地へと異国のルーツを探しに旅立つ。そこには異色の出会いが待っている。

監修：キラン・クシシュナ・シュルスタ / 2004 / ネパール / 56分

18 コーラと少年

Journey of a Red Prince



17歳のハリは卒業と生活を稼ぐためポータ(労働者)として働いている。今日の彼は巨大なコーラの瓶を冷凍庫からそれをヒマラヤの山奥から彼の街まで運ばねばならない。彼の生活費、将来の夢が、6万人とも言われるネパールの「子供ポーター」たちのそれと重なる。

監修：ルシアン・マンテンとステーション・スタンコヴィツキ / 2007 / セルビア / 52分

21 ヒマラヤにかける橋

Bridging the Heavens



チベット仏教の伝統と文化を色濃く残すヒマラヤ奥地のドルポ地方ツァルカ村。村人750人の意識がたった雨期にも流されない鉄の橋を一人の日本人が築くことを決意。河口懸海の足跡を辿ってどこに何度か通っている標本屋だ。3年の苦闘の末、彼は橋の本体を完成させる。

監修：巻澤 隆 / 2005 / 日本 / 55分

24 ミス チベット

Miss Tibet



チベット亡命政府のあるインドのダラムサラの親民コミュニティでは、毎年「美人コンテスト」が行われている。だが今般、候補者は一人だけ。チベットの伝統にそぐわないと、コンテストを早く終わらせたい者もいる。果たして、コンテストは成功するのだろうか?

監修：シェパード・スーレン・ワン・リウ・ウェンとタンジ・タルド / 2007 / インド / 30分

27 我が故郷-チベット

Clear Tibet



チベット人アーティスト、タンセル・プユセルを軸点に活動を展開。故郷より離れ親友としてのラウフ、中国のチベット支配、故郷でのチベット族の自衛などをテーマに音楽を通して、チベットの伝統を基にした芸術表現を追求する彼の目指す世界、創造の源とは。

監修：ロン・シュール / 2006 / ベルギー / 56分

30 ブータン-幸福への道を行く

Butan: Taking the Middle Path



ブータン王国。豊かな自然環境の中で人々の多くが今も伝統的な生活を営む。政府は「国民的大幸福」という精神の富を基に国民の幸福を打ち出した世界の開眼心を集めている。真の幸せを得るために「中道」とは何が? ブータンが持つ幸福とは? 監修：トム・ヴェンデッティ / 2007 / アメリカ / 57分

ヒマラヤ国際映画祭 WEST JAPAN 2009 特別協賛企業

~おかげさまで40周年~ 出会いとふれあいの

マウンテントラベル
ヒマラヤ観光開発株式会社
Himalaya Kanko Kaihatsu Co., Ltd.

○ 東京本社 港区新橋3丁目26番3号会計ビル5階 TEL.03-3574-8292
○ 大阪支店 北区梅田1-11-4-500 大塚駅前第4ビル5階03号 TEL.06-6346-0360
営業時間 / 平日9:30-17:30 土曜9:30-13:00 定休日:日曜日

世界のトレッキング、登山、ハイキングはマウンテントラベル! フリーダイヤル 0120-777802



3860mの標高、サガルマテコヒユ公園にある「ホテル・エベレスト」は、エベレストを始めヒマラヤの山々のご宿預ります。

政治・人権部門

貧困・開発部門

文化部門 A

文化部門 B

文化部門 C